

平成27年9月28日

宗像市議会  
議長 吉田 益美 様

予算決算第2特別委員会  
委員長 杉下 啓恵

### 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を宗像市議会会議規則第110条の規定により報告します。

#### 記

第81号議案から第88号議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、平成26年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

#### 第81号議案 平成26年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

##### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 1,300万8,344円（前年度比 5.6%減）  
歳出決算額 1,024万2,002円（前年度比19.9%増）  
歳入歳出差引額 276万6,342円
- 2 滞納者のうち、26年度中に完済したのは3件で、年間最低3件の目標は達成した。その他は概ね分納で納付中である。8件については、26年度中の納付がなかったが、滞納者本人や保証人も含めて支払いが困難なケースについては、国の償還推進助成金の利用を検討している。
- 3 現段階では減債基金残高の取り扱いについて、国の方針は示されていない

い。公債の期限は33年度であるが、その後も継続して全ての債務が終わるまで、回収業務に取り組んでいく予定である。

##### 【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

#### 第82号議案 平成26年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

##### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

##### 〔事業勘定〕

- 1 歳入決算額 104億8,256万1,682円（前年度比2.8%増）  
歳出決算額 102億2,055万2,998円（前年度比2.3%増）  
歳入歳出差引額 2億6,200万8,684円
- 2 保険税の収納率は96.0%で、前年度より0.3ポイント上昇した。これは、収納課との連携に加え、25年10月から市役所窓口で口座振替受付サービスを積極的に推進した結果、口座振替の割合が向上したことも影響していると考えられる。口座振替受付サービスについては、1日当たり約1.8人、年間656人の申し込みがあった。
- 3 医療費適正化対策として、レセプト、柔道整復師施術療養費支給申請書の点検調査、医療費通知の送付、ジェネリック医薬品の使用推進などに取り組んだ結果、一人当たりの医療費の伸び率が、当初見込んでいた3%を下回り、2.8%となった。レセプト点検受託者については、選定方法を、25年度までの入札方式からプロポーザル方式に変更し、点検に関する高いスキルとノウハウを有する受託者を選定することができたことから、内容点検の効果率が0.48%、効果額が約3,248万円となり、前年度比で0.3ポイント、約2,033万円増加した。またデータヘルス計画を策定することで、医療費を引き上げている疾病の特定につながり、重症化予防対策の方向性を見出すことができた。
- 4 実質単年度収支は、約5,900万円であり、昨年度に引き続き黒字決

算となった。これは、一人当たり医療費の伸び率が、当初見込んでいた3%を下回ったことによる歳出の減、財政安定化支援事業繰入金、国の特別調整交付金、県の財政調整交付金、保険税などが見込額より増加したことによる歳入の増などが主な要因である。しかし、後期高齢者支援金分と介護納付金分は赤字となっており、後期高齢者支援金分は医療給付費分の黒字分で、介護納付金分はその他一般会計繰入金で補てんした。

- 5 保険税の軽減については、5割軽減と2割軽減の対象となる所得額が引き上げられたこと、被保険者の所得が全体的に減少していることなどから、軽減対象者が増加した。

#### 〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 1億1,810万6,249円（前年度比52.8%増）  
歳出決算額 1億1,734万6,038円（前年度比53.5%増）  
歳入歳出差引額 76万211円
- 2 前年度より決算額が増加した主な要因は、医療用機械器具（電子カルテ及び分包機、内視鏡等）の購入、診療所施設整備工事（受付カウンター他改修工事）による歳出の増、その財源である国からの補助金、市債等が歳入で増となったことなどである。
- 3 島内に整骨院、はりきゅう院が開設された影響による、低周波治療の受診者数の減少（前年度比約1,569人、約80%の減）、医師の判断による薬の処方期間の延長などにより、受診者数、診療収入とも減少した。
- 4 医師の研修等により、診療所の診療日数が前年度比で14日、5%ほど減少した。

#### 【意見】

（賛成意見）

- ・健康福祉部の決算報告書は、成果の報告がきちんとなされており、このような報告を是非全庁的に広めて欲しい。医療費適正化の成果は上がっているが、今後は対象者に対する啓発だけではなく、全市民に対して医療費に関するコスト、削減効果などを数値で示し、課題等を共有できるような啓発を行って欲しい。
- ・被保険者数や医療給付が増えている中、医療費適正化の取り組みなどによ

り、高齢化に伴い増加する医療費が抑えられている。医療に関する予防啓発等を更に進め、国保会計が破綻しないよう運営して欲しい。

- ・医療費適正化、データヘルス計画の策定などに対する取り組みは、高く評価している。本市に合った重症化予防対策事業、特定保健指導の実施率や個別健診の受診率向上に向けた対策の検討を要望する。

（反対意見）

- ・国保被保険者の所得は200万円以下がほぼ8割であり、高齢者が増加する中で、今後の国保会計はますます厳しくなる。保険税の値上げにより被保険者の負担が大きくなっているため、本来の社会保障制度としてのあるべき姿が保てるように、市独自の保険税の軽減策、値下げなどを検討すべきである。大島診療所については、島民が安心できる医療体制の整備を要望する。
- ・高齢者の二極化が進む中で、保険税率の改定が過大であったため、過度の負担を被保険者に求めすぎている。被保険者が老後の生活を安心して過ごせるよう、保険税の値下げを含めた国保会計の在り方を再度検討して欲しい。

#### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

#### 第83号議案 平成26年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 14億2,878万8,281円（前年度比5.4%増）  
歳出決算額 13億8,296万8,778円（前年度比5.1%増）  
歳入歳出差引額 4,581万9,503円
- 2 歳入増の主な内容は、後期高齢者医療保険料と繰入金である。繰入金の増は、国民健康保険制度と同様に、保険料の軽減対象となる所得額が引き上げられ軽減対象者が増加したことにより、国県市の負担金が増額したこ

とによるものである。

- 3 被保険者数は、前年度と比較して75歳以上が314人増加、一定の障がいがある65歳以上75歳未満が3人減少したため、前年度比311人、2.8%増加した。
- 4 26年度の現年度分収納率は99.5%で、県平均を0.4%上回っている。

#### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

### 第84号議案 平成26年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔保険事業勘定〕

- 1 歳入決算額 66億8,392万 260円（前年度比2.7%増）  
歳出決算額 66億4,889万 413円（前年度比2.7%増）  
歳入歳出差引額 3,502万9,847円
- 2 介護給付費の総額は約62億6,125万円で、前年度比で約1億6,653万円、2.7%の増、地域支援事業の利用者負担額を含んだ事業費総額は、約1億6,419万円で、前年度比で約438万円、2.7%の増である。
- 3 24年度から26年度までの第5期介護保険事業の財政状況については、計画値に対する実績値の比率が96.8%であり、健全な運営ができた。
- 4 介護給付費については、居宅サービスと地域密着型サービスは増加しているが、施設サービスは減少している。これは、介護療養型医療施設の利用者が8.4%減少し、しかもこのうち入所の中心である要介護4～5の利用者が、約10%減少していることが直接の理由である。

- 5 高齢者からの相談や日常生活の支援などについては、主に民生委員等からの情報に基づいて対応している。対応が困難な場合は、消防、警察等と連携をとっている。

#### 〔介護サービス事業勘定〕

- 1 歳入決算額 4,960万2,646円（前年度比19.3%増）  
歳出決算額 4,560万6,302円（前年度比25.8%増）  
歳入歳出差引額 399万6,344円
- 2 歳入の主なものは、介護予防サービス計画費収入で、歳出は、介護予防サービス計画作成のための費用で、非常勤任用職員の報酬、共済費、計画作成委託料、事業所から地域包括支援センターに出向している職員の負担金などである。

#### 【意見】

（賛成意見）

- ・運営体制の維持向上のために、地域包括支援センター等の体制強化を図っている点は評価する。高齢者対策については市民サービスの充実が急がれるので、更にスタッフ数を拡充して全力で臨んで欲しい。
- ・高齢化が進んでいく状況の中で、地域で支えるシステムの構築が必要であるが、担当課だけでは難しい面があるので、人材の確保や課題の把握に早めに取り組んで欲しい。

（反対意見）

- ・介護保険制度の改正により、制度が社会保障制度の本質から離れていくことを危惧する。市独自の保険料の減免制度を設けるなど、必要なサービスを受けることができるように改善すべきである。
- ・現在の介護保険制度は、介護サービスの限度が決められており、足りない分は自己負担でサービスを受けなければ生活が成り立たない高齢者が増えている。社会保障制度としての介護保険の今後について、各地方自治体が向き合っていかなければならない状況である。

#### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

**第 85 号議案 平成 26 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計  
歳入歳出決算認定について**

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに 4, 583 万 8, 036 円  
(前年度比 10. 7%増)
- 2 介護認定審査会は福津市と共同設置し、26 年度は 14 合議体で延べ 254 回開催。審査件数は、宗像市と福津市合計 6, 982 件、構成比率は宗像市 64. 3%、福津市 35. 7%。この割合を基礎に、福津市の負担金と本市の繰入金を算出している。主な歳出は、認定審査会の委員報酬及び関係職員人件費である。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で認定した。

**第 86 号議案 平成 26 年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について**

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに 4 億 9, 257 万 4, 413 円  
(前年度比 20. 2%増)
- 2 渡船 3 隻において、船員法施行規則で定められている操練、防火・防水等の安全訓練を年間 43 回行った。
- 3 大島、地島、島外利用者に対し、フェリーの利用状況調査を実施し、その結果を踏まえて、大島航路の航路改善計画書を策定した。
- 4 船検切れ防止の対策として、有効期限証を船舶に貼付し、職員間で情報を共有・確認をするように改善を行った。
- 5 世界遺産国内推薦候補決定による来訪者対策については、世界遺産登録推進室が中心となって設置された世界遺産庁内対策会議で、人員の確保等

も含めて対応を検討する。現状では臨時便の増加等で、有資格者である船長、機関長の負担が大きくなっているため、船員の中で有資格者を増やすことで対応している。

- 6 25 年度と比較すると小荷物と貨物の数の増減があるが、これは運輸局の指摘により、26 年 7 月から小荷物と貨物の運賃適用方法を変更したことによるものである。
- 7 26 年度は、地島航路、大島航路合わせて 4, 712 便を運航し、乗客数は地島航路 6 万 2, 358 人、大島航路 19 万 6, 913 人、合計 25 万 9, 271 人で前年度に比べ 9, 841 人、3. 7%減少している。これは、7 月から 10 月にかけての台風により、大島航路で 33 便、地島航路で 28 便が欠航したことなどによるものである。

**【意見】**

(賛成意見)

- ・定期的な安全訓練については、今後も更に力を入れて欲しい。来訪者の増加が予想されるが、関係部署と連携し、おもてなしの意識を持って運航に努めていただくことを要望する。
- ・今後は、臨時便の増加などにより、船員の負担が増えることが予想されるが、安全運航の視点から船員の負担軽減の対策を講じて欲しい。
- ・島外からの観光客の増加が予想されるが、それと並行して島民の暮らしの充実が必要である。渡船は島民の日常的な交通手段なので、手荷物等にかかる料金については、特段の配慮を検討して欲しい。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で認定した。

**第 87 号議案 平成 26 年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算認定について**

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 1億2,353万1,215円(前年度比5.7%増)  
 歳出決算額 1億2,340万8,013円(前年度比5.7%増)  
 歳入歳出差引額 12万3,202円
- 2 前年度と比較して決算額が増加した主な理由は、歳入では下水道使用料、一般会計繰入金が増、歳出では維持管理費、事業費の増である。
- 3 鐘崎、地島、大島地区の処理施設の維持管理業務の他、28、29年度に工事を予定している大島下水処理場の改築に向けた機能保全計画策定業務を行った。
- 4 維持管理費の修繕料の増額は施設の老朽化によるもので、機能保全計画による改築後は、修繕料が抑えられる見込みである。
- 5 不納欠損額のほとんどは、現在運営会社が解散している旧さざなみ館分であり、その他は居所不明で時効が到来した分等である。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で認定した。

**第88号議案 平成26年度宗像市下水道事業会計決算認定について**

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況(税込み)
 

収入決算額	29億2,477万5,464円
支出決算額	26億3,845万4,590円
収支差引額	2億8,632万874円
- 2 資本的収支の決算状況(税込み)
 

収入決算額	6億5,730万	65円
支出決算額	17億2,978万	76円
収支差引額	△10億7,248万	11円

 収入不足分は、損益勘定留保資金等で補てんしている。
- 3 地方公営企業会計の制度改正により、新会計基準に基づいた決算を行ったため、前年と比較して、営業外収益の他会計負担金、長期前受金戻入、

営業費用等で金額に大幅な増減が生じている。

- 4 主に江口地区などの污水管渠の整備を行った結果、26年度末の下水道普及率は前年度から0.4ポイント増加し、96.2%となった。污水管渠整備では、管渠延長が1.2キロメートル増加し、総延長479.8キロメートル、処理区域面積は、2,601ヘクタールとなった。
- 5 下水道使用料の収納率は現年度分97.2%、過年度分58.1%である。
- 6 滞納分使用料については、業務を委託している宗像地区事務組合、市の収納課と連携して徴収に努めている。
- 7 浸入水防止対策については、毎年継続して工事を行っているが、今後は国庫補助の対象となる長寿命化基本計画に基づいた工事も進めていく予定である。
- 8 処理原価を使用料で賄えていない状況が継続していたが、下水道の接続率が向上したことで、前年度と比較して改善している。

**【意見】**

(賛成意見)

- ・今後、雨量の増加が予想される中で、特に早急な浸入水防止、污水管等の老朽化対策の検討を要望する。

**【審査結果】**

委員会は賛成多数で認定した。

**第90号議案 平成27年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について**

歳入歳出それぞれ176万6千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ920万9千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

26年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で減債基金積立金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第91号議案 平成27年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について**

事業勘定は、歳入歳出それぞれ1億4,418万5千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ118億3,227万円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出それぞれ109万7千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ8,764万1千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 事業勘定の補正の主な内容は、26年度決算額の確定に伴うもの、職員の人事異動及び給与改定に伴うもの、医療費適正化特別対策事業に関するものである。医療費適正化特別対策事業費では、糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組むための委託料などを新たに計上する。
- 2 26年度決算に伴い、約2億6,200万円を27年度に繰り越すが、その内の約1億1,400万円を過年度返還金として国・支払基金等に返還し、残金で27年度の赤字補てん分として計上していた、歳入のその他一般会計繰入金1億2千万円を減額した。
- 3 直営診療施設勘定の補正の主な内容は、26年度決算額の確定に伴うもの、職員の給与改定等に伴うもの、地方債の借入利率が確定したことによる償還利子の減額である。

**【審査結果】**

委員会は賛成多数で原案のとおり可決した。

**第92号議案 平成27年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について**

歳入歳出それぞれ1,409万2千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ15億976万5千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

26年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額、一般会計からの事務費繰入金を減額、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金を増額、職員の人事異動及び給与改定に伴い職員人件費を増額する。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第93号議案 平成27年度宗像市介護保険特別会計補正予算(第1号)について**

保険事業勘定は、歳入歳出それぞれ7,833万8千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ73億7,183万2千円とする。介護サービス事業勘定は、歳入歳出それぞれ199万6千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ6,105万4千円とする。また、保険事業勘定の債務負担行為の追加を行う。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 保険事業勘定の補正の主な内容は、26年度決算額の確定に伴うもの、職員の人事異動と給与改定及び人件費の組み換えに伴うもの、介護保険制度改正に伴うシステム改修に関するものである。人件費の組み換えについては、地域包括支援センター職員の増員に伴うものである。
- 2 28年10月以降順次、地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに外

部委託する予定であるため、1カ所分の業務委託費について、債務負担行為を追加する。専門職の資格を持った職員の配置を前提に委託費の算定を行っている

- 3 介護サービス事業勘定は、26年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を、歳出で予備費を増額する。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

#### 第94号議案 平成27年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ4万1千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ5,161万9千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

職員の人事異動及び給与改定に伴い、歳出で介護認定関係職員の人件費を増額する。これに伴い、歳入で福津市負担金、宗像市繰入金を増額する。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

#### 第95号議案 平成27年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ274万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ4億6,114万7千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

船員の定年退職に伴う新規船員の採用により、歳出で運航費の職員人件費を減額、職員の昇格により、営業費の職員人件費を増額する。これに伴い、歳入で一般会計繰入金を減額する。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

#### 第96号議案 平成27年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ400万4千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億5,203万5千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 上八地区の公共下水道区域の下水道使用料について、下水道事業会計ではなく漁業集落排水処理施設事業特別会計で会計処理をしていたため、過去3カ年分及び現年分の使用料の補正を行う。その他、地形の関係から鐘崎処理場で汚水処理を行っている上八地区平原地域の昨年8月からの汚水処理負担金の補正を行う。
- 2 上記会計処理の修正に伴う補正の他、26年度決算額の確定、給与改定及び人事異動に伴い、歳入歳出予算の補正を行う。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

#### 第97号議案 平成27年度宗像市下水道事業会計補正予算（第2号）について

収益的収入及び支出において、収入を142万1千円減額し、収入総額を28億9,851万7千円に、支出を1,323万5千円減額し、支出総額を26億125万8千円とする。資本的収入及び支出において、支出を54万6千円増額し、支出総額を14億9,451万6千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

会計処理の修正に伴う補正（第96号議案の審査内容を参照）の他、26年度決算額の確定、給与改定及び人事異動等に伴い、歳入歳出予算の補正を行う。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。